

短大同窓会東海支部総会開催(令和4年6月18日)

長引くコロナで2度にわたり延期となりましたが、3年ぶりでやつと6月18日(土)東海支部総会が、母校より河見誠学長・菅野幸恵教授、同窓会本部より依田静江会長・廣浜文子運営委員をお招きして、ホテルグランヒルズ静岡にて開催されました。梅雨入り宣言されたばかりの静岡でしたが雨にも濡れず、同窓生38名が集うことができました。河見学長のご講演は、「21世紀と絆—パンデミック以降の私たちの生き方」。思いもよらぬコロナで私たちの生活も一変しました。誰にも降りかかったこのパンデミックをどう受け止めるか戸惑っていた同窓生にとって先生のご講演は貴重で人生の指針ともなりました。今年3月で短大も72年の歴史に幕を閉じ、完全閉学となりました。閉学は寂しくもありますが、閉学に祈りを捧げたいと一念発起してご出席という91歳を迎えたばかりの大先輩もいらつしやいましたし、今年の会報春号に掲載された河見学長の「終わりは新しい始まり」の記事に励まされ、お出掛けくださった方も大勢いらっしゃいました。今回、閉学もあり日本キリスト教団静岡教会会員さんに讃美歌生演奏をお願いしました。母校ではいつも讃美歌が流れています。キーボードとソリストによる演奏は韓国バージョン讃美歌や手話を交えての全4曲。キーボードだけによる編曲演奏「祈祷」は毎回総会の初めに唱和していて、誰もが知る「いくしみ深き友なるイエス」のメロディに思わず目頭が熱くなりました。令和2年に卒業されたばかりの同窓生も駆けつけて下さり、華を添えてくださいました。美味しいお食事をいただいての歓談の集いもあつといいう間でした。梅雨の曇り空ではありましたが、会場はパツとひまわりが咲いたような感じでした。「またお会いしましよう!」またの再会を楽しみに閉会となりました。

金原里枝(昭49卒短大英文)

## 箱根駅伝を応援する集い(令和4年1月2日)

今回第98回大会は、人数縮小・マスク着用・着席の距離を保つ・原則拍手応援で行い開催とすることを決定いたしました。場所は「アプレシオ浜松ビオラ田町」。そして、令和4年1月2日良く晴れた大手町のスタート地点で朝8時号令が鳴り響きました。画像の調子が悪く中々映らなかつた時は、レースの状況もわからず、画像が見られるようになつた時は、1区も残りわずかな地点でした。志貴選手が前の方の集団にいたのを確認した時には、ホッと胸を撫でおろした次第です。そして2区へ襷が渡つた時は、エースの近藤選手ならどうにかしてくれる



であろうと思いまし  
た。期待通りエースが  
良い位置で3区の1年  
生太田選手に繋げて  
くれました。そして、  
太田選手が併走して  
いた他校の選手を残  
り僅かな所で、前に出  
て引き離したときは  
本日の参加予定者全  
員が集まつた事と重な  
り、大拍手で盛り上  
がりました。そして4  
区の飯田主将に襷が  
渡りました。2位を引  
がりました。そして4  
区の飯田主将に襷が  
渡った時は、「さすが  
間3位の走りで芦ノ湖  
は、この日最大の拍手  
も絶好の駆伝日和にこ  
ノ湖のスタート地点を  
を切り、快調に天下の  
渡つた時には2位に3  
力抜群」の8区の佐藤  
の中村選手に渡つた時  
に、2位に10分51秒の  
大会新記録で飛び込  
んで瞬間でした。感動  
念写真に納まりました  
てこの「集い」が開催出  
する時に比べ喜びが3  
区間賞の大健闘でし  
ません。やっぱり集ま  
以上の大気合の入つたガ  
の名での開催となりま  
した。前半は雨がぱら  
ご参加をいただき8  
中部支部様から2名  
のつき決して良いとは言  
えないコンディション。  
それでも後半には雨  
も上がり、安藤由紀  
子さんからのおやつの  
差し入れを食べながら



渡りました。2位を引き離し5区の1年生若林選手に襷が渡った時は、「さすがだ」と思いました。若林選手が区間3位の走りで芦ノ湖の往路ゴールの飛び込んだ時は、この日最大の拍手が沸き起きました。そして、復路も絶好の駆伝日和に恵まれ期待に胸膨らみました。芦ノ湖のスタート地点を高橋副主将が元気よくスタートを切り、快調に天下の剣を下り7区の岸本選手に襷が渡つた時には2位に3分以上の大差がつきました。「駆伝力抜群」の8区の佐藤選手も区間2位で走りぬき、9区の中村選手に渡つた時には、またもや大拍手が起きました。9区中村選手・10区中倉選手が連続の区間新による区間賞の大健闘でした。そして、ついに大手町のゴールに、2位に10分51秒の大差をつけ総合10時間43分42秒の中に、念写真に納まりました。昨年の往路12位・総合4位そしてこの「集い」が開催出来なかつた悔しさが一気に吹き飛んだ瞬間でした。感動を与えていただき感謝の念に堪えません。やっぱり集まつて応援すると、一人でTV応援する集する時に比べ喜びが3倍にも4倍にも増します。感染対策には大変気を使いましたが、「箱根駅伝を応援する集い」を実施出来て本当に良かったと思いました。

西部支部ゴルフコンペ  
(令和3年10月31日)

山中宏美(昭53卒 経済)



## 箱根駅伝を応援する集い（令和4年1月2日）

「パツとひまわりが咲いたような感じでした。「またお会いしましょう！」またの再会を楽しみに閉会となりました。

金原里枝（昭49卒 矢大英文）

支部総会代替書面決議

顧問 驚津有一(昭57卒経官) TEL 053-456-815

萬葉書山素久(平成)年 紹興  
m-aoyama@sake-surugaya.co.jp

もながら笑いの絶えない楽しいコンペとなりました。終盤までもつれた接戦を制したのは、ベストグロスでの完全優勝を果たした初参加の石田修康さん。第2位は中部支部長の小長井敬さん。第3位は久島達郎さんでした。次回は11月13日に開催を予定しています。初心者の方から経験者まで、老若男女を問わず多くの校友の皆様のご参加を心よりお待ちしています。

西部支部 ニルアエシベ  
（令和4年5月29日）

m-aoyama@sake-surugaya.co.jp

の楽しいラウンドでした。栄えある『優勝』は悪コンディションを物ともせず、冷静そして時にパワフルなプレーを展開した鈴木繁樹さん。『準優勝』には華麗なチップインを決めた長谷川義男支部長、そして『第3位』には参加2回目にして2度目の入賞を果たした安間宏さんがそれぞれ輝きました。久しぶりに西部支部メンバーによる1・2・3ブーナツシユとなりました。次回は5月29日に開催を予定しています。幅も広くフラットなコースですので初心者の方にも安心です。老若男女を問わず多くの校友の皆様のご参加を心よりお待ちしています。

会員の方の 企業・お店 を ご紹介 (是非、ご利用下さい)

The image is an advertisement for FTC co.,ltd. It features the company's name in a stylized font next to a large, bold 'F' logo. To the right is a QR code. Below the text is a black and white photograph of a compact, four-wheeled electric vehicle, possibly a golf cart or utility vehicle, with its license plate reading 'FTC-880'. The background is plain white.

弁護士法人長野法律事務所  
浜松市中区大工町125  
TEL053(456)0385  
Address:info@nagano-law.or.jp  
長野敦子(昭58卒法)

# 医療と介護の 更なる充実へ向けて

# 藤花会 グループ

あなたの夢に、  
追い風を。

浜松いわた信用金庫は  
「あなたの夢」を、全力で応援! 続けます。